

Tidings of flowers 花だより 山手小

2023年(令和5年)12月20日 担当：校長 塚本 智一

児童集会

19日(火)に、今学期最後の児童集会を行いました。まずは、みんなで『冬の歌』を歌いました。そして、リコーダー、スレイベル、タンブリンを加え、楽曲を楽しみました。朗らかなよい一日のスタートをきることができました。



『元気』と『笑顔』があふれる やまて

Tidings of flowers 花だより 山手小

2023年(令和5年)12月20日 担当：校長 塚本 智一

「学び」をつないで

3年生

ゴムゴムパワー



下校のために階段を降りてきた3年生の手元に、面白いものを見かけました。

「見せて。見せて。」とお願いすると、ヨーヨーのように動くものでした。「やらせてもらっていい？」と頼み、持たせてもらってやってみました。

秘密を探ると、ゴムの力を利用して、糸を巻いて動かす「おもちゃ」でした。

3年生の図工には、「材料や用具を適切に扱い、組み合わせたり、形を変えたりしてつくる」という学習があります。理科には、「ゴムの力は、物を動かすことができること。力の大きさを変えると動く様子も変わることを学ぶ学習があります。

「身の回りのものを材料としてつくる」「ゴムの力を利用する」は、まさに、教科をつなぐ(教科を越える)、よい活動だと思いました。



『元気』と『笑顔』があふれる やまて

Tidings of flowers 花だより 山手小

2023年(令和5年)12月20日 担当：校長 塚本 智一



一つひとつの丁寧なお世話の結果



地域の方が「学級園」をのぞかれ、「校長先生、立派な大根ができとるね。上手に作ってじゃ。」

とおっしゃってくださいました。

わたしも近くを通るとき、生育を見てきました。ここまでになるまでには、それ相当のかかわりが必要です。

ローズ1組の子どもたちが土づくりから、タネ植え、水やり、草とりと丁寧にしてきました。

収穫が楽しみですね。

本当に見事な「実り」です。



『元気』と『笑顔』があふれる やまて

Tidings of flowers 花だより 山手小

2023年(令和5年)12月20日 担当：校長 塚本 智一



キャベツ

農

「農」という漢字について調べてみると、小学校で習う漢字の成り立ち(象形・指事・会意・形声)で言うと、“会意文字”に類され、意味のある字の組み合わせで出来ていることが分かりました。

「農」という漢字の上の部分は、元々、林を意味する字が変異して“曲”となり、下の部分の“辰”は、オオハマグリが足を伸ばした姿を意味しているそうです。

林地をハマグリなどの貝殻(道具)を使って耕す様子から、「農」の漢字になったようです。

英語で「農業」を表す「agriculture」の語源を調べてみると、ラテン語の「agricultura」でした。

「agri-(土地)」に「cultura(耕作)」を合わせた言葉だということでした。

「土」と、人の働きが共通していることが分かりました。

All you've got to do is own up to your ignorance honestly, and you'll find people who are eager to fill your head with information.

正直に自分の無知を認めることが大切だ そうすれば、必ず熱心に教えてくれる人が現れる